

# ずさいっしょ！ひだか ~知ってる?! ひだかの米~

## 食べたら美味しい！ひだかのお米

日高管内の水稲面積は 1,190ha、収穫量は 6,210t(令和4年産)です。面積・収穫量とも全道割合の1%と少ないですが、「ひだかのお米はとても美味しい！」と高い評価を得ている産地です。

タンパクが低いほど「美味しいお米」といわれますが、日高管内は低タンパク米が生産される産地です。

日高管内の各 JA からはユニークなネーミングのブランド米が販売されていますので紹介します。

(各ブランド米の戸数・面積は令和4年の数値です)

## JA びらとり「ニシパの恋人」



「ニシパの恋人」は、びらとり米麦改良協会(会員数 95 戸、水稲栽培面積は 450ha) で生産されています。品種は「ななつぼし」です。

日高山脈から流れる沙流川流域に広がる平取町、日高町で生産され、厳選された低タンパクの美味しいお米です。

※「ニシパの恋人」は JA びらとりブランド商品名です。

## 日高町門別「馬舞米(ウマイベ)」



「馬舞米」は、北海道弁の「おいしいよ」という意味と、優駿の里、日高門別で馬が元気よく天を舞う姿をイメージして命名されました。

品種は「ななつぼし」で、JA 門別町産米改良協会(会員数 24 戸 水稲栽培面積 331ha) で生産された中で高品質米として厳選されたお米です。

米のおいしさを維持するため、収穫後はもみ貯蔵し出荷時に精米して「もみ摺り米」として出荷、店頭に並べられます。

## 新冠町「判官伝説」



「判官伝説」は、JA にいっぴろ稲作振興会(会員数 20 戸、水稲栽培面積 138ha) の会員により生産されています。品種は「ななつぼし」です。

土づくりと地域特有の豊富な日照を活かし、美味しさにこだわって生産しています。ブランド名の「判官伝説」は、この地に伝わる義経伝説が由来となっています。

## まんばけん 新ひだか町静内「万馬券」



「万馬券」はJAしずない稲作振興会（会員数 24 戸 水稻栽培面積 80ha）の会員の中で、特別栽培に取り組む5戸の農家が生産しています。

栽培ほ場を厳選し、軽種馬牧場から産出された良質堆肥を使い、土づくりにこだわって生産した美味しいお米です。品種は「ななつぼし」を使用しています。

馬産地、静内らしく縁起の良い「万馬券」がブランド名になっています。

## 浦河町「特別栽培米」



「浦河の特別栽培米」はJAひだか東浦河の特別栽培米生産部会で生産しています。JAひだか東浦河の特別栽培米生産部会は7戸、栽培面積は17ha。栽培品種は「ななつぼし」「きたくりん」「おぼろづき」です。

地産地消をめざし「地元の人に食べてもらいたい」との思いがこもった「特別栽培米」です。近年は学校給食にも提供しています。商品ロゴは、浦河高等学校書道部部長の作品です。

## 新ひだか町三石「トキノミノル」



「トキノミノル」はJAみつしい稲作振興会（会員数 27 戸 水稻栽培面積 130ha）の中で生産されるお米の中から、低タンパクで美味しいお米を厳選してお届けしています。品種は「ななつぼし」を使用しています。

「トキノミノル」は、幻の名馬トキノミノルのように、いつまでも愛されるお米になってほしいという願いから命名されました。

## 様似町「アポイ米」



「アポイ米」はJAひだか東 様似町稲作振興会アポイ Clean 米倶楽部で生産しています。様似町稲作振興会アポイ Clean 米倶楽部は6戸、栽培面積は21ha で育苗、田植え、防除、収穫は共同での作業です。栽培品種は「ななつぼし」「きたくりん」「ほしのゆめ」です。

アポイ岳の麓の水田で、化学肥料と化学農薬を減らして栽培された、クリーンで美味しい様似町のお米。様似町のキャラクター「カンランくん」と「アポイちゃん」の大きなシールが目印です！